

# 寺崎組新聞

第四百十号

## 寺崎組野宿塾in群馬 「TR限定バンク地獄」 旅」bV組長

191回組会報告

林道バイクを、なんちゃってDR250からカワサキKL250にしたばかりなのだが、諸事情により、今回から1985年製ホンダXL200R(MD14)に変更。書類無し鍵無し長年放置不動のバイクを5万円以上10万円以下で手に入れ、どうやって復活させ、書類を起こしたかは割愛させていただきます。ほぼ同時期、何故かXL125R(JD04)の書類付きフレームを手に入れた。さらに、長年憧れ続けていた1981年製XR200R(ME04)も手に入れてしまった。もう本当にポロポロ(風雨でシートスポンジが露出してスポンジ表面がザクザク、と言え程度が分かるだろうか?)書類ももちろん無し、ヤブオク10万円以上15万円以下という私にとっては異常に高価な買い物であったが、どうやって落札したかは割愛させていただきます。さらにXL125の車体も手に入れてしまった。というわけで(どういうわけだ?)良く晴れたその日、ようやく走れるようになったXL200Rを積んだ軽トラは、高速で沼田・水上方面を目指し、ガソリン補給・昼食買い出しを行い、軽トラのデポを予定している某林道某広場に向かう。そこへ、どこかで見たことのある八王子ナンバーの歌う地下鉄前原サンバーが対向してきた。サンバーデポを探しているとのことで、私がいつもデポしている広場にご案内する。いやー群馬の空はただ青く、緑とのコントラストが鮮やかだ。でも暑い。集合待ち合わせ時間までには間がある。で、林道(雪見林道という)を猿ヶ京温泉方面へと、下見がてらに走り出す。XL200Rの初林道走行で、軽くコンパクトな車体にまつて、セッティングの問題か、ある回転数

のところでふけ上がりにもたつきがあるのが気になる。地下鉄前原氏はいつものWRだが、持病の股関節痛で足付き性に問題のあるバイクの操作に不安があるらしい。ちよっと古くてボロいけど、軽くて足付き性抜群のバイクがありませ、ここに。

というわけで(どういうわけだ?)倒木や落石で少し荒れた雪見林道の下見を終え、寺崎組野宿塾待ち合わせ場所の、みなかみ町立温泉施設「奥平温泉遊神館」に到着。幸いに涼しい川沿いに木陰があったのでXLを止める。さて昼メシ、沼田のコンビニで買って来た鶏肉弁当でも食おうかと思っただけの時、トゥルルという軽やかな排気音とともに、なんちゃってTLRのロッカー氏が現れる。続いてカワサキTRのシバタ氏。ギアの入りが悪いと修理を試みたが、完全修理にはいたらなかつたよう。なんでも、オイルが新しい時やエンジンが暖まる前までは普通だが、エンジンが暖まるとギアが入らなくなるらしい。東京からここまで走って来たのだから、深刻なトラブルではない、ことを祈る。そして見ればすぐわかるほどの体形に「痩せた?」と問えば「禁酒したら20kg痩せた」とのこと。健康のためにはいい頑張りでしたね。そして最近登山に目覚めてしまったなんちゃってDRのゴ三浦氏。道に迷って少し遅れてジェベル250のO型氏。以上6名の寺崎組の精鋭は、快晴の群馬山中、秋鹿大影林道へと走り出す。組長ともなれば、各自の走行テクニック、各自の飲酒量、各自の酒の好み、各自の食のこだわり、各自の健康状態など考慮した走行ルートを選ばなければならぬ。というわけで(そういうわけだ)軽トラをデポした雪見林道を再び走り、国道17号線に出る。買い出しは国道からちよっと入った所にある何回も通わなとつきり思っていたのだが、最近になって国道県道にも「フレッシュマートはやしや」の看板が立った。無事に買い出しを終え、見切り品が多くなるにつぶれるスーパード

「か?」などと話しかけるオヤジが現れた。周辺キャンプ場の情報にやたらと詳しいので、つきり我々と同じようにキャンプの買い出しに来ているオヤジかと「どちらのキャンプ場にお泊りですか?」と問えば「このオナーです」との答えにビツクリ。きつと林さんという苗字だろう。2年に一回ほどの常連客の私たちに「今は使われていない森林公園キャンプ場があるよ」と教えてくれたが、私たちが今まさに向かおうとしている場所だ(軽トラデポ地付近)。

遊神館の手前から秘密のルートで雪見林道の途中に出る。地下鉄前原氏と私は本日3回目のルートとなる。少々掘れた砂利道をホイホイと進んでみると、リアとエンジン付近でガチャンという異音と共にXLの推進力が一気に失われた。あーあと確認するとチェーンが外れていた。最初からチェーン音がどこかに当たったが、チェーンの張りは正常なのでそのままだと放置(土の地面の納屋だと思像する)されていた車庫である。サッピサビのチェーンの表面は磨いたものの、チェーンのコマのピンの中までは磨けない。ピンの中及び周辺の錆とキコキコが走行している間に取れて一気に伸びたと想像される。200cc以下のXLやTLR系には何故かチェーン脱落防止ガード類が付いているのだが、ことごとく軽量化してしまっているものだから、ドライブスプロケットカバードチェーンが食い込んでふくらんでい



寺崎組の野宿塾in群馬



寺崎組の野宿塾in群馬

そして、その日はとうとうやってきました。いつものように宴会し、いつものように早起きし、いつものようにゴミ焼却焚火をして、さて出発かとなった時、地下鉄氏が「何、この黒い虫は?」血をたっぶり吸ったヒルだと思われ(後でわかったことだが、私の首筋に2匹張り付いており、地下鉄氏の靴下も真っ赤になってた)誰の血を吸ったんだらうね?少々荒れた秋鹿大影林道を駆け上がる。途中、何台かのオフロードライダーに出会う。バイクが売れなくなり、コロナ禍で歩く人が減り、バイクの中でもドマイナーなオフロードバイクがこんなに多い(とはいえず、せいぜい5、6台なのだが)なんて不思議だ。

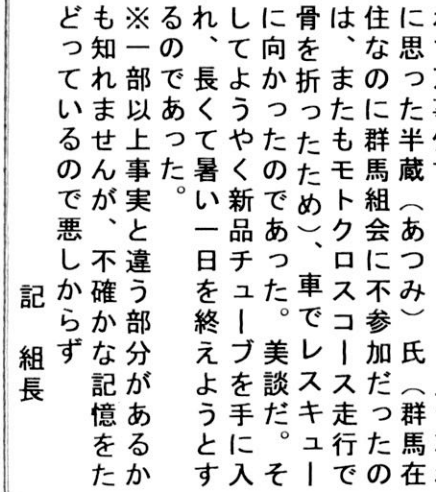


寺崎組の野宿塾in群馬

四万温泉の国道に出た所で、明日は定期健診のロッカー氏とお別れ。いつものコースである万沢林道に突入。適度の荒れた路面、今日も良く晴れた樹間の道、峠の手前が舗装化されているのは残念だが気持ちよく走る。峠の広場で休憩。休憩している間に次から次へとオフロードバイクが通り過ぎる(せいぜい3台ぐらいだった)。そしてTRのシバタ氏がなかなか来ないことに気がつく。ゴ三浦氏が偵察に往って帰って来ると、バンク修理に手こずっているとのこと。んじゃあということになり、全員でTRバンク修理現場へ引き返す。バンクの原因は、錆びた鉄リム裏の剥がれかけたメッキの先のギザギザ。チューブに点々の傷を作り、その一つから空気が抜けたようだ。予備チューブを持っていないシバタ氏は、速攻で修理を試みたが、修理した穴のそくそばの点傷からまた空気が漏れていて、テンパリまくっている最中に我々がバンク修理現場の糊残量小、そろそろ昼メシのラーメンを煮る時間、等の事情により、ゴ三浦氏の予備チューブ(修理箇所ありの中古)に交換することにした。

思ったと思うが無かつた。さてはただの沢水になったのか)を汲む。県道の暮坂峠を越えて国道353号線に合流して中之条(地元では「なかんじょ」と言う)で買い出し。暮坂峠の県道55号線へ引き返し反下温泉方面へ。一軒宿の温泉手前の十字路を右へ上ってゆくと、分岐にいく分岐は多いものの、わらび峠に通じている。峠の手前から分岐する林道に入り、四輪はもう来られませんが、この道の終点らしい広場を野宿塾とすることにした。そこでWRを止めようとした地下鉄氏、股関節を痛めているせいもあり足場が悪かつたのか立ちこげ、足がステップの先端に挟まり「イテイテイテイテ」と叫んだかどうか知らないが、相当に痛かつたようだが怪我がなくて何よ

と、いつも自分が使っているタイヤレハートと違う誰かの高級レハートを使ったため。バンク修理は落ち着いてやり直ししよう。そこでO型氏が持つていた中古チューブに交換。今度はO型氏が作業する。私はイジイジと鉄片でバンクしたチューブ(だったと思う)にパッチを貼る作業をする。O型氏の作業がサクサク進むので、穴周辺をパッチの大きさをプラスアルファの面積を金鋸の刃で荒らす作業もそこそこパッチを貼った。



寺崎組の野宿塾in群馬

組長

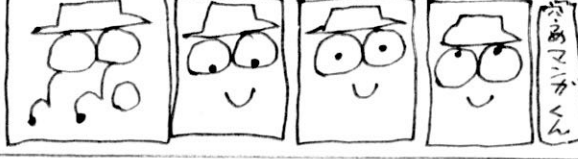
記



# 白河塾 激走南会津 骨折からの復活

192回組会報告

今回は地元の三倉さんが欠席！というわけで、1年間に2回も骨折(2020年11月 左鎖骨、2021年6月 左上腕骨)し、もうエンディングロールは懲り懲り(?)な半蔵が今年の福島塾の報告をさせていただきます。



や「シヨック」と、意気消沈のオガタさん。なかなか上がって来ない我々を心配して組長が下りてきます。ここで小休止。ん？タイカブ高橋さん？

すよね。足が挟まりもがく私。皆さんに助けてもらおう。いつもながらお掛けします。エンディングが役に立ったと思つたのは気のせいでしょうか。宿泊地は鬱蒼とした林の中。雨風を凌ぐため組長が事前に目撃しておいてくれた場所です。なるほど。ここなら枝が出てくるからブルーシートを張ります。その手際の良さを見た高橋さんは感動したとかしらないのか。いや、感動したでしょう。私だって初めての雨の下仁田組会で感動したんですもん。組長が「ささ、半蔵さん、シートの下にテントを張りなさい」と、スペシャル待遇です！何となく、スベシャル待遇です！何となく、いい感じ！と思つたのも束の間、中央に立てた支柱によりブルーシートはぼたぼた雨が滴り落ちてきます。嗚呼、せつかく気を使つて下さった組長。すみません。もうペグ打つちやうとんでテント動かすの面倒臭いっす、読みが甘かつた。見兼ねたオガタさんがもう一本支柱とゴム紐で応急処置して下さいました。何から何まですみません。一通り宴食準備が整い高橋さんはここで離脱されます。無事帰宅されたでしょうか。来年静岡組会、お待ちしています！

体勢を立て直し再び走り出す我々一行。なかなか変化に富んだ道となつております。小休止中にタイヤのエアを抜いたと良かつた。全然違う。漬物石みたいなコロコロ、ツルツルの丸石がゴロゴロ転がっているかと思えば、池みたいに大きな水溜り、抜けるとドロドロで気を抜けない楽しい？林道であります。雨にけむり、霧も出る。視界不良。私はもうだいたい疲れてしまいましたよ。思い起こせば夜勤明け、骨折後久しぶりの林道。走つて居る時はそんなこと忘れてるんですが、疲れて思い出したので。そんなこんなで西部林道と甲子林道の分岐に。ここまでの間、私にしては珍しくノコケです。骨折はしたもののエンデュアの経験が役に立っているのかしら。骨折は無駄じゃなかつた！(いや、骨折はムダです)最後尾タイカブ高橋さんを待つ。なかなか来ず。「なんかあつたかな」「結構あつた水溜り深かつたから、」

さあ！去年のいわきの組会以来、わたくし1年ぶりです。16時過ぎてるぞ！急げと乾杯！時々どしゃぶりと降る雨もブルーシートの屋根で快適。おつまみは地下鉄さんの筑前煮から三瓶シエフの豚とナスの炒め物、オガタさんの焼き魚、お刺身と多種多様。相変わらず豪華です。ゴ三浦さんはもう作らなくていいだろと食に徹し、私も餃子を焼いただけ。何の話をしてたか、まあいいものことなんですよ。その場にいられることが楽しくて、やっぱり寺崎組会っていいなあと思つたのでした。ただ、地面が傾斜になつてくるので徐々に下が沢のようになってきました。カエルがびよんびよん遊びにきます。雨蛙なんでものではありません。山に住む茶色い大きいものは5.6cmあるカエルです。そんな来客もありつつ、風流な川床宴会は進んでいきます。

怪しい団体、いざ北西に進路をとる！雨、荷物重、つらい。雪割牧場を抜ける真直ぐな舗装をパピューンと抜け、右に曲がりいよいよ一本目。たぶん鎌倉林道。ウヒョー！久々の林道だ！雨だ！ウヒョー！いつものように後ろ三瓶さん、ゴ三浦さんについてもらおう。前は地下鉄さん。あつという間に見えなくなる。タイヤのエアがまだ高かつたかな。すつと走りづら。だいたい山も減つてから。大丈夫かな、コケたくないぜ。など考えながら必死で走ります。雑草が左右からうもると生い茂り、所々でつかい水溜り。泥どろ。ん？前方にジム二道が止まっている。草もうもうだから道を塞いでいるように見える。カブのこんなとこに止まつてんや！と、すれ違ったその先で誰かが救助されている。オガタさんだ！ケガはない様子。良かつた。まんまとジム二の罠に嵌められてしまいましたね。雨でドロドロになつた丸石に引つかつてしまったようです。い

今日帰らなげやいけな私。走りかたえありすぎで面白くない。なにか帰るが面倒くさくなくて、なにか「やっぱりもう一泊します。」夜勤だし最悪夕方まで帰ればいい。帰らないとなると、俄然楽しくなつてきた。お昼休憩は舗装になつて間もなくの林道横の空き地。宿泊にも良さそう。影がない場所に陣取つたため、暑い暑いと言いつつ熱いラーメンをすすする。ゴ三浦さんは濡れたものをほとんどザックから出し乾燥。さながら雑誌の持ち物紹介みたい。



半蔵 地下 0型 組会 三浦 半蔵

ゴミ燃やし。自宅をバイクを倒した時に折れたブレーキレバーをまた組長がバリ取りしてくれました。そうです。私のバイクはクラッチレバーもブレーキレバーもなぜかショートもブレーキ化されているのです！どちらにも組長自らバリ取りしてくれました。別れ、オガタさんはデポ地黒磯へ、ゴ三浦さんは翌日の荒海山登山口の日光街道を南下。道の駅たじまに少し寄り、三瓶さんは塩原方面、私は日光方面に。コロナ禍と思えないほど混雑する日光(平日だよな？)を抜けて、夜勤まで寝る！骨折後約3ヶ月。重い荷物、長距離移動、林道走行。楽しみ半分、不安も半分で臨みましたが、結果2泊3日完走できました。組長はじめ、皆さまありがとうございます。次回松川塾。また宜しくお願いします！

ゴミ燃やし。自宅をバイクを倒した時に折れたブレーキレバーをまた組長がバリ取りしてくれました。そうです。私のバイクはクラッチレバーもブレーキレバーもなぜかショートもブレーキ化されているのです！どちらにも組長自らバリ取りしてくれました。別れ、オガタさんはデポ地黒磯へ、ゴ三浦さんは翌日の荒海山登山口の日光街道を南下。道の駅たじまに少し寄り、三瓶さんは塩原方面、私は日光方面に。コロナ禍と思えないほど混雑する日光(平日だよな？)を抜けて、夜勤まで寝る！骨折後約3ヶ月。重い荷物、長距離移動、林道走行。楽しみ半分、不安も半分で臨みましたが、結果2泊3日完走できました。組長はじめ、皆さまありがとうございます。次回松川塾。また宜しくお願いします！

群馬組会一人一言  
●秋鹿林道、万沢林道最高でした！ありがとうございます！(オガタ)  
●前回同様またヒルにやられました！一泊でしたがいい天気でした！(ロッカ)  
●立ちごけで足がステップに挟まれて、助けてもらうまで足が抜けませんでした。軽いバイクが欲しい。(地下鉄)  
●柴田さんのパンク(もどきも含む)の回数たるや、前代未聞です！(ゴ三浦)

この後も一本林道に入り、お昼となります。今日帰らなげやいけな私。走りかたえありすぎで面白くない。なにか帰るが面倒くさくなくて、なにか「やっぱりもう一泊します。」夜勤だし最悪夕方まで帰ればいい。帰らないとなると、俄然楽しくなつてきた。お昼休憩は舗装になつて間もなくの林道横の空き地。宿泊にも良さそう。影がない場所に陣取つたため、暑い暑いと言いつつ熱いラーメンをすすする。ゴ三浦さんは濡れたものをほとんどザックから出し乾燥。さながら雑誌の持ち物紹介みたい。

下郷から田島と、私でも「あ！見覚えがある！」風景に。「あ！ここ来たことある！」と、七ヶ岳林道。私が初めて福島林道でコケまくり、石碑のところまで折れたクラッチレバ

白河組会一人一言  
●雨で、林道で転げました！まだまだ駄目ですね！(オガタ)  
●雨の集合、出発と、崖落ちからの復讐戦だったので、私は丁寧なピビッた走りでした。今回は、落ちませんでした。(サンペイ)  
●台風が来て雨風大したことなくラッキー。翌日はお約束の台風一過の晴天。結果的には天候に恵まれた組会でした。(地下鉄)  
●どう考えても会津田島のリオンドール2軒の距離が近すぎる！(ゴ三浦)

9月19日(日)二日は晴れ。ものすつこい晴れ。朝食、荷造りを済ませて宿泊地を後にします。私は翌日また夜勤仕事なので、皆さ

9月20日(月)この日も晴れ。それぞれ朝食をとり、夜露でびちよびちよになつたテントを乾かしつつ

9月20日(月)この日も晴れ。それぞれ朝食をとり、夜露でびちよびちよになつたテントを乾かしつつ

西側林道に入り程なく、少し開けた道の脇、草むらに突入する組長。今日の宿泊地のようにです。え、ここ登るんですか？地下鉄さん泥で後輪取られてますが。それを目の当たりにし、ビビる私。案の定コケま

西側林道に入り程なく、少し開けた道の脇、草むらに突入する組長。今日の宿泊地のようにです。え、ここ登るんですか？地下鉄さん泥で後輪取られてますが。それを目の当たりにし、ビビる私。案の定コケま

下郷から田島と、私でも「あ！見覚えがある！」風景に。「あ！ここ来たことある！」と、七ヶ岳林道。私が初めて福島林道でコケまくり、石碑のところまで折れたクラッチレバ

9月20日(月)この日も晴れ。それぞれ朝食をとり、夜露でびちよびちよになつたテントを乾かしつつ

9月20日(月)この日も晴れ。それぞれ朝食をとり、夜露でびちよびちよになつたテントを乾かしつつ